

## 平成29年度 第2回山北町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成30年2月23日（金）  
開会：10時30分 閉会：11時20分
- 2 開催場所 山北町役場401会議室
- 3 出席者（敬称略）
  - (1) 委員 6名  
山北町長 湯川 裕司  
山北町教育委員会教育長 石田 浩二  
山北町教育委員会教育長職務代理者 岡部 達也  
山北町教育委員会委員 瀬戸 安美  
山北町教育委員会委員 野地 泰次  
山北町教育委員会委員 小菅 正子
  - (2) 事務局 2名  
企画政策課副主幹 平野 泰輔  
企画政策課主事 勝俣 修
  - (3) オブザーバー 2名  
学校教育課長 渡辺 伸二  
生涯学習課長 辻 和雄
- 4 傍聴者 0名
- 5 会議概要
  - 1 開会 平野副主幹
  - 2 町長あいさつ 湯川町長
  - 3 教育長あいさつ 石田教育長

#### 4 議 題

湯川町長

(1) 平成30年度当初予算案の概要について

それでは、議題(1)「平成30年度当初予算案の概要について」ですが、具体的な説明に入る前に、平成30年度に予定している教育分野に係る事業の中で、私が特に重点施策として考えている内容について述べさせていただきたいと思えます。

平成30年度当初予算の総額は、一般会計と特別会計、水道事業会計合わせて84億9,046万円、うち教育費は4億8,030万7千円で、前年度対比6,929万5千円の増となっています。

教育分野に係る重点施策の総額は1億8,497万5千円となっており、主な事業につきましては、学校施設維持管理事業といたしまして、川村小学校と三保小学校の普通教室にエアコンを設置し、平成30年度で町内の小・中学校全ての普通教室へのエアコン設置を完了いたします。

教育振興事業につきましては、校務支援システムの運用や教育用ソフトウェアの導入、三保小学校へのタブレット導入等により、プログラミング教育に備えてまいります。

教育特区推進事業につきましては、「鹿島山北高等学校」が昨年9月に開校し、現在、生徒数は100名を超え、4月からはさらに増えるといった話を聞いておりますので、地域の活性化にも期待しているところであります。

山北体育館解体調査業務につきましては、将来的に武道館的な施設を設置していきたいと考えていますが、平成30年度については、早期に解体工事に着手できるよう調査を実施してまいります。

平成30年度も引き続き、山北町の子ども達に一貫した教育が行えるよう、取り組みを進めてまいりたいと考えています。

具体的な説明につきましては、オブザーバーの渡辺学校教育課長と辻生涯学習課長から説明をお願いします。

渡辺学校教育課長

別紙「平成30年度当初予算案の概要」により説明。

辻生涯学習課長

湯川町長

ただいま、担当課長から平成30年度当初予算案の概要について説明がありましたが、この件に関しまして、ご意見、ご質問等がありましたら発言をお願いいたします。

岡部委員

山北体育館の解体後は、武道館的な施設を検討しているとの説明がありましたが、今後、町民に意見を聞いた中で決定していく方針ですか。

湯川町長	<p>町といたしましては集会所や武道館的な用途を想定していますが、具体的な内容については町民の皆さまにも意見を聞いた中で決定していきたいと考えています。スケジュール的には平成31年度に設計を行い、平成32年度には着工を考えています。</p>
瀬戸委員	<p>平成30年度で全ての小・中学校の普通教室にエアコンが設置されるということで、近年の異常気象により、夏には厳しい暑さの日が、冬には厳しい寒さの日がある中で、教育環境を整備していただけることは大変有り難いことだと思います。</p> <p>また、教育用ソフトウェアの導入についても、時代の流れに沿った教育方法ということで、現場の先生方にとっては有り難い話だと考えています。</p>
石田教育長	<p>教育用ソフトウェアについては、既に中学校へも導入していますので、平成30年度で全ての小・中学校に導入されることとなります。</p>
小菅委員	<p>私は、図書の読み聞かせの活動に参加していることもあり、メンバーの中でも図書整理が課題といった話をよく聞くところですが、司書の資格を持った方を配置していただけるということは、大変有り難いことだと思います。</p>
石田教育長	<p>クラス数が12以上には、司書教諭を配置する必要があります。山北町では先生方が多忙で図書整理にあまり係われず、ボランティアの方々に図書整理をお願いしている状況があるわけですが、図書室アドバイザーを配置することで、定期的に小・中学校や幼稚園、保育園、こども園を回り、図書整理に携わる教諭や保育士、またはボランティアの方々に指導ができるという面で、図書室の運営が大幅に変わることに期待しています。</p>
野地委員	<p>山北町は、教育に対する予算配分が多く、平成30年度は、エアコンが全ての学校の普通教室に設置されるということで、子ども達もそのような環境の中で学習できるということは大変有り難いことだと考えています。</p> <p>川村小学校のプール内壁の塗装につきましては、綺麗なプールで泳げるようになることは、児童だけでなく地域においても、夏休みの一般開放時に子どもを連れて行こうという思いが出てくるのではないかと考えています。</p> <p>図書室アドバイザーについては、どの学校でも要望しているところではありますが、学校図書の充実や子ども達に図書のアドバイスができる環境としては大変有効であると思います。</p> <p>タブレット導入と、図書室の充実は矛盾するところがあるかもしれませんが、タブレット機器でなく図書から直接感じ取っていくことも、特に10歳以下の子ども達にとっては大事なことであろうと思います。</p>

石田教育長 学校プールについては学校ごとに課題はありますが、今後は川村小学校だけでなく順次環境を整えていきたいと考えています。

湯川町長 学校プールについては、山北中学校や共和小学校のプールも撤去していかなければならないと考えています。

また、子ども達の情報収集がタブレットに頼りがちとなっているので、活字離れが進まないよう、図書に興味をもってもらうことが重要と考えています。

石田教育長 図書室アドバイザーとして予定している方は、現在、図書整理員として勤務され、生涯学習センターのイベント時に、そのイベントに関連した本の紹介を一覧表にまとめて配布するなど、新しい取組みを始められ、利用者から好評をいただいています。そのような視点を持った方に図書アドバイザーになっていただけるということで、今後の図書室の運営に大変期待しているところであります。

湯川町長 そのほかに、よろしいでしょうか。

それでは、「平成30年度当初予算案の概要について」は以上とさせていただきます。

## (2) 教育の諸課題について

湯川町長 次に、議題(2)「教育の諸課題について」に移りたいと思います。

はじめに、「町の教育方針について」石田教育長より説明をお願いします。

石田教育長 資料1により説明。

先ほど開催した定例教育委員会で、「平成30年度山北の教育」における山北町の教育の基本方針について議決をいただきましたので、これに基づいて実施してまいりたいと考えております。町長にはこの方針についてご理解いただきたく、今回、教育の諸課題の一つとして提案させていただくものです。

平成30年度は「教育大綱」及び「第5次総合計画・前期基本計画」の計画期間が終了する年ですので、まとめを意識した中で取り組み、平成31年度からの新たな「教育大綱」及び「後期基本計画」の策定に向け、新たな教育活動の充実や学校の在り方等について、教育委員会として検討していきたいと考えています。

また、教育課題である外国語教育の拡大、プログラミング教育の推進、道徳の教科化に伴う心の教育などにつきましても、しっかりと対応していきたいと思っております。

さらに生涯学習関係につきましては、平成29年度に改訂した「生涯学習推

進プラン」に基づき、生涯学習の基盤づくり、学習機会の充実、学習情報の提供、学習活動の支援、学習環境の整備を段階的に実施し、推進を図っていききたいと考えています。

そういった中で、県の「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」につきましても、3年目として平成30年度につきましても県の審査がとおれば40から50万円ほど助成されるため、小・中学校の先生方の授業力向上に資する研究がされるものと考えています。

さらに、平成30年度は幼稚園、保育園、こども園について、県の健康体力づくりの研究委託の指定を受けたいと考えています。予算は8万円ほどですが、町の幼児教育の中で、運動遊びに特化しながら、単なる体力づくりだけではなく、頑張る力、協力する力といった心身の両面で健康体力づくりを推進していきたいと考えています。

これらの基本方針をもとに、今後具体的な重点目標、重点取組といったものを定めていきながら、平成30年度は取り組んでまいります。

湯川町長

ただいま石田教育長から、「町の教育方針について」説明がありましたが、ご意見、ご質問がありましたら発言をお願いいたします。

石田教育長

教育委員の了解もいただきましたので、平成30年度についてはこの基本方針で進めてまいります。平成31年度からの「教育大綱」及び「後期基本計画」については、総合教育会議で町長と意見交換をしながら1年間かけて検討していきたいと考えています。

湯川町長

そのほかに、よろしいでしょうか。

それでは「町の教育方針について」は以上とさせていただきます、続きまして、「教職員の働き方改革について」、石田教育長より説明をお願いします。

石田教育長

**資料2**により説明。

先日2月15日に、学校長、産業医、養護教諭、教育委員会事務局等で組織する衛生委員会を開催し、今年度実施した教職員のストレスチェックの実施状況と結果について話し合いました。ストレスチェックは今年で2年目となりますが、10月に「職業性ストレス簡易調査票」によりアンケート的な調査を行ったところ、教職員69名のうち64名が回答されました。

実施率については、昨年度の77.8%から、今年度は92.8%に上昇しました。調査方法を、パソコンによるデータ入力から紙媒体での提出に変更したことと、周知啓発が行き届いたことが要因ではないかと分析しています。

また、高ストレス判定者数は、昨年度の7名から今年度は4名となり、割合

も12.5%から6.3%に減少したことから、ストレスを感じた教職員が減ってきていると考えています。

しかしながら、詳細について分析したところ課題もあり、20代の若い教職員がストレスを感じていることが多く、また、男性より女性の方がストレスを多く感じているという結果が出ました。今後は、若い教職員の悩み、特にコミュニケーションの悩みを聞く機会を設けるなど、チームとして学校の運営にあたるなどの改善を図っていかねばならないと考えています。

続きまして、「学校閉庁日の設定について」説明いたします。

「学校の働き方改革」については様々な課題があるところですが、山北町では、小・中学校の教職員が年休や夏季休暇を取得できないという状況がある中で、平成30年度より8月13日から15日までの3日間を「学校閉庁日」にしたいと考えており、現在、小・中学校の校長、または教育委員の方々に提案しているところです。

「学校閉庁日」には日直を置かず、部活動等の教育活動も原則実施しない予定です。万が一緊急の案件が生じた場合は、学校教育課をとおして学校長に連絡する体制を整えていきたいと考えています。ただし、「学校閉庁日」が給料日にあたる場合もありますので、その場合は学校長や事務職員が対応できるように配慮していきたいと思います。保護者へは、教育長名と学校長名の連名で通知するとともに、夏休みのしおりなどでも周知を図り、また、8月1日号の広報おしらせ版で地域全体への周知も実施していきたいと考えています。

「学校の働き方改革」の一つとして、「学校閉庁日」を提案させていただきましたが、さらには、運動部活動の在り方や、教職員の研修日の精査や削減、あるいは全ての小・中学校に普通教室にエアコンが設置されるという中で、夏休みの短縮等も考慮に入れながら、「学校の働き方改革」に対応していきたいと考えています。

湯川町長

ただいま石田教育長から、「教職員の働き方改革について」説明がありましたが、ご意見、ご質問がありましたら発言をお願いいたします。

野地委員

夏休み期間中、教職員も休みだと勘違いされている方が非常に多い訳ですが、実情は出張や研修が大変多く、子ども達が夏休み期間中なのに休暇が取得しにくいという状況が生まれています。そのような中で、3日間休みを設けていくという町の姿勢は、教職員からすると大変有り難いことだと考えています。

瀬戸委員

先ほど開催された定例教育委員会の中で、小・中学校における「学校閉庁日」実施のきっかけとなったのは、幼稚園教諭の面接の結果を受けたものであると

の説明が教育長からありました。先生方の意見を尊重していただいていることに感謝したいと思います。私が教職員の頃は、年休取得が1年に5日ほどでして、時間休の取得が多かったのが実情でした。夏休み期間中は、様々な研修会や自主研修等があり、なかなか積極的に休暇を取得することができなかったのので、町が「学校閉庁日」を設定することは良い方法だと感じています。

また、ストレスチェックについてですが、実施率や判定者数といった数値分析だけでなく、もう少し個々の中身まで入り込んだ中で分析していただけると有り難いと思います。例えば、高ストレス判定者数が7名から4名に減少したとのことでしたが、その4名は去年の7名に入っていた人なのか、それとも新たに対象となった人であるのかといった辺りも検証していただいた中で、今後役に立てていただきたいと思います。

石田教育長

ストレスチェックの結果については、産業医の飛驒先生に全てチェックを実施していただいておりますが、今年で2年目ということで、今後も経過を確認していく必要があるかと考えています。

一点、課題として捉えているのが、今回、高ストレスと判定された4名の教職員に対し、体制的には面接指導を行うことができるわけですが、本人が面接指導を申出されないという状況がありました。今後は、ただ通知を出すだけでなく声掛けをする等、産業医に気軽に相談できるような体制づくりを構築していく必要があると考えています。

岡部委員

個々のストレスチェックの結果を把握しているのは、教職員本人以外には学校長だけなのでしょうか。

石田教育長

結果は学校長をとおして教職員に伝えられるシステムとなっておりますが、個々の詳細な結果については、教職員本人以外には産業医のみが把握をしています。

渡辺学校教育課長

教職員本人が安心してストレスチェックを行えるよう、個々の詳細な結果については産業医のみが把握することとしており、学校長へは全体的な傾向を伝えるのみとなっております。

岡部委員

私は、夜間に山北中学校で週2回ほど卓球の練習をしており、去年までは先生方が先に帰るということは殆どなかったわけですが、今年に入ってから、先に帰られることが多くなったように感じています。

石田教育長

これまで山北中学校では、中間テストと期末テストの5日前から部活動中止になっていましたが、スポーツ庁が、中学校を主な対象とする「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」の骨子案を1月に公表したことを受け、

平成30年度からは、期末テストについては1週間前から中止すると校長から報告を受けておりました、その関係もあるのかなと感じています。

湯川町長

そのほかに、よろしいでしょうか。

それでは、「教育の諸課題について」は以上とさせていただきたいと思います。

(3) その他

湯川町長

次に、議題(3) その他について事務局何かありますでしょうか。

事務局

特にございません。

湯川町長

それでは、本日の会議の議題はすべて終了となりましたので、進行の方を事務局にお返しします。

5 その他

(事務局)

それでは、「5」の「その他」でございますが、事務連絡をさせていただきます。

来年度の会議日程でございますが、基本的には今年度と同様、1回目を11月頃、2回目を2月頃に実施したいと考えていますので、宜しくお願いいたします。

また、会議の中でも話題に出ましたが、「教育大綱」の計画年次が「第5次総合計画・前期基本計画」の計画年次と合わせまして、平成30年度までとなっていますので、町の「後期基本計画」の策定と並行した形で、新たな「教育大綱」の改訂についても教育委員会と連携しながら進めてまいりますので、その際は、随時会議を設定させていただきたいと考えています。

6 閉会 平野副主幹

以上